

# スマートフォンのアプリ利用

---

---

## ここで勉強すること

---

- スマートフォンのアカウント
- スマートフォンのアプリ利用

## スマートフォンの「アカウント」

---

スマートフォンでは、機種を利用している人を特定するために、いくつかのアカウントを利用します。アカウントによっては、設定しなくても使用できるものがありますが、アプリのダウンロードができなかったり、アプリの機能に制限が出てきたりします。

まずはこのアカウントというものを理解しておきましょう。

### ● アカウントとは

---

アカウントとは、インターネット上のサービスを利用するために必要なもので、ふつう「ユーザー名」と「パスワード」と呼ばれる二つの英数文字列を組み合わせで管理されています。

このユーザー名とは、アカウントにつける名前です。ほとんどの場合、英語や数字からなる名前です。このユーザー名は、他の人と同じものを使うことが出来ません。もしすでにサービスに登録している別のユーザーと同じ名前を登録しようとした場合は、サービスにユーザー名のつけ直しを提案されます。

パスワードとは、そのユーザー名を使うための暗証番号です。銀行の暗証番号と違って、この暗証番号には英語や数字、記号など様々な文字が使えるのが普通です(たまに、数字しか使えないサービスも存在します)。

このパスワードは、銀行の貸金庫の鍵のようなものなので、他人に盗まれたり、推測されたりしないように気をつける必要があります。もし他人がこのパスワードを知ってしまった場合、他人にアカウントに登録されたメールや電話帳などの情報を書き換えられたり、他人になりすまされたりすることがあるため、注意が必要です。

銀行の暗証番号と同様に誕生日や本名、電話番号など他人が知りうる情報でなく、自分が覚えやすいパスワードを使うようにしましょう。

## ● OS メーカーのアカウント

---

スマートフォン OS を作っている、Google や Apple、Microsoft などのアカウントです。このアカウントはそれぞれの OS メーカーが提供しているアプリストアやメールやバックアップなど様々なサービスを使用するために必要になります。

これを設定しなくてもスマートフォンの利用は可能ですが、OS メーカーの提供するアプリストアのインストールができなくなる、一部このアカウント情報を使ったアプリが使えなくなるなど様々な制限が生まれます。特に事情が無ければ設定しておくことをお勧めします (なお、docomo から発売されているらくらくスマートフォンやジュニアスマートフォンは、このアカウントを設定することが出来ません)。

## ● 通信事業者のアカウント

---

スマートフォンを販売している、docomo や au、ソフトバンクなどのアカウントです。最近のスマートフォンには買った時点で設定されていて、消したり追加したりすることは出来ません(au の場合は、au ID というものを設定する必要があります)。

これは、通信事業者が提供しているアプリストアやメールなどのサービスを利用するのに必要になります。

## ● その他のアカウント

---

そのほか、スマートフォンを利用していると、様々なアカウントを作ったり、既存のアカウントの名前を入力したりする場面に遭遇することがあります。

この場合、これから使おうとするアプリが本当に信用出来るものなのか、アカウントは本当に自分に必要なものかどうか、考えた上でアカウントを作成しましょう。

また、新しいサービスを登録する場合は、アカウントに設定した情報を、サービスがどのように使うかを説明する「利用規約」が載っています。長文ではありますが、こちらも確認しておきましょう。

### アカウントにかかわる用語集

#### ● ログイン/サインイン

パスワードを入力し、アカウントの利用を開始することです。貸金庫の中に入った状態です。

#### ● ログアウト/サインアウト

アカウントの利用を終了し、貸金庫の外に出ることです。再度使うときには、あらためてログインが必要です。

#### ● サインアップ/登録

サービスを利用するために、アカウント(貸金庫)を作ってもらうことです。

サインアップ自体は無料ですが、その後の操作が有料になっているサービスもあります。

## スマートフォンのアプリ利用

---

スマートフォンのアプリには、様々なものがあります。ここでは、これらの中から特に基本的なアプリケーションを紹介します。

### ● 電話

---

スマートフォンで電話をする場合は、いずれのスマートフォン OS の場合も電話アプリのアイコンを探してタップします。ほとんどのスマートフォンでは、受話器のアイコンから電話が起動できます。

電話番号の画面で、かけたい人の電話番号を押すか、かけたい人の名前を電話帳から探して、タップすることで電話が出来ます。

電話帳の操作方法は、機種によって異なります。自分の持っているスマートフォンの動作を確認してみましょう。



### ● メール

---

スマートフォンから送れるメールには、次の三種類があります。

- スマートフォン OS メーカーが提供しているメール(Android の GMail など)
- 通信事業者が提供しているメール
- それ以外のメール

Android や Windows Phone の場合は、それぞれに使用するアプリが異なります。自分が使うメールアプリの使い方を覚えておきましょう。

スマートフォン OS メーカーが提供している GMail などのメール機能は、スマートフォンを機種変更したり、通信事業者を変えたりしても今までどおり使えるのが特徴です。また、多くのメール機能はパソコンからでも同じメールを読むことが出来ます。

通信事業者が提供しているメール機能は、今までの携帯電話とおなじメールを受信したり、飾り付きのメールを送ったりすることが出来るのが特徴です。スマートフォンを機種変更しても同じメールが読めますが、通信事業者を変えるとメールは読めなくなります。

スマートフォンでは、その他パソコンで使っていたメールなどを設定して読むことも出来ます。この場合、パソコンで使っていたのと同じアカウントを設定すれば使えます。

種類	パソコンでも	機種変更しても	携帯会社変更しても	絵文字は
OS メーカーメール	読める	読める	読める	見るだけ
通信事業者メール	読めない(ドコモの場合、読めるようになる予定)	読める	読めない	使える
その他のメール	読める	読めない(設定による)	読めない(設定による)	使えない

## ● チャットアプリ

---

チャットアプリは、文字や絵文字等により、遠くの人と会話できるようになるアプリです。直接電話するのに比べて、音声ではないので声が出せない状況でも使える、面と向かって話しづらい内容のことも話せるなどの特徴があります。

また、最近のチャットアプリは、インターネットを使った音声通話や、カメラに自分を映してテレビ電話のように使うことも出来ます。こちらは、複数人と会話出来るほか、インターネット通信機能を使っているため安く (同じチャットアプリを使っている人同士であれば無料) 通話できるという特徴があります。

このチャットアプリは、LINE やカカオトークなどの専用アプリをインストールして使うほかにも、Android であれば Google トーク、iPhone であれば FaceTime などといった機能を使って通話することも出来ます。

## ● マップ

---

スマートフォンは、それぞれ地図を表示するアプリが最初からインストールされています。このアプリは、スマートフォンに内蔵されている GPS を使って自分の現在位置を表示できるほか、機種によっては現在自分が向いている方向も教えてくれます。

ただし、ビル街や屋内では位置情報がとれないこともあるため、過度な期待は禁物です。